

05 深谷地区



…なんだかすごいぞ!!!

グランドゴルフ深谷会

開催日 (開催頻度)	土日、祝祭日以外の基本毎日 (練習場前のお宅がゆっくり休めるように)
催時間	8:30 ~ 10:30
会費	年間 500 円(主に会の運営費と整備費)
運営財源	年会費、大会参加費各々100 円、ホールインワン賞 100 円。旅行や飲み会費はその都度。



「グランドゴルフ深谷会」会長 鎌田正二郎(かまだしよつじろ)さん(七十二歳)は「いつでも、どこでも、たとえ杖をついていたって、一人で歩くことができれば、みんなと一緒に楽しめる。それでいて個人競技なところがまた魅力!」と大好きなグランドゴルフをいつも宣伝している。この鎌田会長率いる「深谷会」には深谷地区だけではなく、市内の他地域から参加者が集まってくる。学校区で見ても全く違う地域の方々だ。しかも、そのメンバーで旅行にいったり、飲み会をしたりと楽しんでいるという。

「なぜ?どうしてこんな交流ができてくるの?」
答えはこの深谷会のグランドゴルフ場にあった。

一般的にグランドゴルフは野球場のようにある程度の面積と平らな敷地が必要で、どここの団体も練習場を獲得するために、日程調整、申請書提出、使用料を払うための参加費を集めたりする。その練習場が、なんと・ここでは「ただ」で・「いつでも」利用できるのだ。

しかしいったいなぜ?：鎌田会長にお聞きした。「うちの練習場は特別な場所。「愛好会」時代に借りていた地区内の空き地が工業団地になってしまい新たな場所を探していたら「おらいの土地を貸すがら!」と約五五〇坪もある土地を貸してくれる人が現れた。今はその人もメンバーだ。福岡グランドゴルフ愛好会や深谷西区下自治会からの助成金を活用して、重機なんかも自分たちで操作して、みんな自分たちのグランドゴルフ場として作りあげた。簡易トイレも置いてある。「深谷会」と命名して今年で二年目になる!」なるほど。だから「ただ」で「いつでも」な「特別な場所」なんですな。
プレイの合間には手作りのビニールハウス休憩所でお茶飲み。これまた手作りの伝言板に掲示された



深谷小 2 年生との交流



ビニールハウスで一服

今後の大会や飲み会のお知らせ、前回の大会の成績発表などを見てワイワイと賑わう。
取材した日は、携帯用酸素ボンベを持って参加されていた八十四歳の泉田実(いずみだみのる)さんが優勝、かなりの高得点だった。
「在宅酸素になった頃は、ガツカリして自宅から出られなかった。「こもっていないで、ゴルフに行っておいで!」と言う家族の声と「体が辛くなったら休めばいい!一緒にやっぺ」という仲間の声に背中を押された。嬉しかった。無理は効かなくなったが、できる範囲で参加している。ここに来ることが生きがいになっている。」と教えてくれた。
この深谷会には、近くの深谷小学校 2 年生の子どもたちもグランドゴルフを教えてもらいにやって来る。「地域の名人に技を教えてもらおう!」と言う学習だ。子どもたちが練習場に来るときはこの泉田さんも一緒に子どもたちの前に座る。「年をとっても、病気になるっても、みんなと一緒に楽しく過ごすことができるんだよ。」と教えるのだ。
皆さんの地域でも「いつでも、どこでも、どんな人でも仲間になれる。」そんな居場所作りをしてみませんか。グランドゴルフ深谷会に興味がある方、白石社協までお問い合わせください。

06 緑が丘地区



…地味だけど仲良しサロン! めざそう百歳緑笑会

開催日（開催頻度）	月1回（第3日曜日）
開催時間	12:30~14:30
参加費	月400円 食事会の時のみ600円
運営財源	サロン助成金、参加費、緑が丘町内会助成金



みんな揃って記念写真！



季節の催し、七夕飾り

参加者がそう多くないので、17名程度で、頭の体操、童謡・唱歌の斉唱、ゲーム（かるた、双六、ビンゴetc）、紙芝居などでいつも和気あいあいと楽しんでいる。最高齢は今年なんと99才！元気な100才を目指すみんなのお手本だ。毎月なるべく催しを変えて皆さんに楽しんでもらえるように、サロン終了後に世話人が集まって次回の打合せをしている。ユニークなものでは、年に1度、尺八や笛、口笛など、日頃ボランティアで演奏活動されているプロ級の奏者の方をお呼びして、素晴らしい音色を鑑賞し楽しんでいること！うちのサロンならではの自慢の催しだ。七夕まつりの飾りつけや、芋煮会なども開催し、季節の流れを感じてもらえるように心掛けている。町内会の65歳以上の方、元気な100歳めざして一緒に楽しみませんか！ご連絡お待ちしております！（参加希望は社協までご連絡下さい）

●最近の悩み事

男性が5名しかいないので、増やしたいがなかなか参加してもらえないこと。60代~70代の会員を増やしたいが、これもままならない。 サロン代表 小賀坂 謙一(カガサカノイ)



…♪緑が丘地区の

「ここがポイント!!」♪…

- ① 緑が丘・・・といえば「高台」。白石を眺めるように上へ上へと住居が続く。天気の良い日の蔵王山の眺めは最高！。坂道が脚力を鍛えるせいか、元気で明るい高齢者が集う地区。
- ② コミュニティセンターは緑が丘地区と寿山地区の合同の場所。ここでの活動が円滑に運ぶように、コミュニティセンター推進協議会が設立されており、各地域のサロン関係者、自治会関係者、民生委員、地域の方々によって構成。「健康長寿」を目標に皆で学び、できることから実践している。
- ③ 昭和53年の宮城県沖地震、コミュニティセンターとなりの現在の緑が丘第一公園にあたる箇所が大きく地滑りを起こし甚大な被害を蒙った。昭和53年の震災の後、現在の形に整備され桜並木と白ツツジが美しい地域の憩いの場となった。テレビ局の取材や市外から見物人が来るほどだった。
- ④ 平成23年3月11日の東日本大震災でふたたび大規模な地滑りが……。市内外の見物人や何より地域の住民に愛されていた白ツツジや見事な桜の並木が姿を消した。寂しくなった公園に以前の姿を取り戻したいと地域の声が高まり、「国際花と緑の博覧会記念協会」の復興支援事業に助成金を申請。3年後の平成26年11月に植樹式を開催、白ツツジ1,000本、桜25本を地域住民の手で植樹することができた。現在6年が経ち、広い公園を整備する担い手不足、資金不足に奮闘中だ。



平成26年の植樹の様子

【編集後記】最後までご覧いただき、ありがとうございました。暑い日が続きますが、水分補給・栄養補給をしっかりとって元気に乗り切りましょう！皆様からの情報をお待ちしております。
発行元：白石市社会福祉協議会 地域支援係 佐野りつ子、山家 結美
☎ 0224-22-5210 fax 0224-22-1571